![C:\Users\zenrin\AppData\Local\Microsoft\Windows\Temporary Internet Files\Content.IE5\OYLOII2Q\MC900228485[1].wmf]()園長だより　令和元年１１月号（20201130）　　　　　　　　　　　　　　　園長　平澤　正則

保護者アンケート調査集計結果考察

　調査集計結果のなかで，本年も私の主観に基づいて感じた主な点を記したいと思います。

１　「園は親に必要な情報を伝えている。」に対し，「伝えている」が73％しかなかったことはややショックであり，改善の必要性を感じました。集計後ただちに担任の先生方の会議である担任会や職員会議を開き改善策を検討しました。その中で特に課題と感じたのは，バス通園保護者とのコミュニケイション不足です。今後は毎週最低一回担任が添乗し，1分程度の時間にはなりますが意思の疎通に努力するということを12月から始めることとしました。誰がいつということは約束しづらいですが，顔を合わせる時間をもちたいと思います。また，連絡帳のさらなる活用にも力を入れたいと思います。

２　「園は小中学校と連携した教育活動を行っている。」に対し，「そう思う」がわずか39％でした。

　主に年長組が毎年実施している諸活動への評価を求めるつもりでしたが，特に今年はコロナ禍の影響で活動が中止になったり，停滞している状況です。理想からいえば，年長組に限らずどの学年も連携をとるべきことであり、これからも課題となっていく事柄です。また，園児とは別に先生同士の情報交換会などを企画してくれている小学校もあるのですがそちらも中止となっており，いずれにしても保護者の皆さんには分かりにくい設問であったと思います。

３　その他，全般的に少人数とはいえ否定的な意見もありましたが，これは私たちが自らを反省する良い機会にしたいと考えます。

４　ハロウィンの衣装については前年度からの懸案でしたが，おかげさまで進むべき方向性がわかってきました。

５　年間行事については改めて皆様の園行事に期待する気持ちと園職員への信頼を感じ取ることができ，有難いと感じております。

６　私が個人的に重要視している設問7と12については，この2つとも否定的な意見がなかったのはうれしいことでしたが，「どちらかといえばそう思う」が昨年度より多くなってしまったのは大きな反省材料かと思います。

７　設問15と16でいただいた一つ一つの皆様のお考えにこれからも真摯に向き合っていきたいと考えます。

ご協力ありがとうございました。